

2023 年漁業センサス結果確報（石川県分）の概要

（令和 5 年 11 月 1 日実施）

2023 年漁業センサスは、我が国の漁業の生産構造、就業構造並びに漁村及び水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を明らかにするとともに、我が国の水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的として、昭和 24 年以來 5 年ごとに実施されている調査です。

この資料は、令和 5 年 11 月 1 日現在で実施された調査の結果について、石川県分の概要を取りまとめたものです。

◎調査結果の概要

1 漁業経営体数は 971 経営体 2018 年調査（前回）に比べ 22.6%（284 経営体）減少

漁業経営体数を地域別にみると、能登地区は 866 経営体で、前回に比べ 21.8%（241 経営体）、加賀地区は 105 経営体で、同 29.1%（43 経営体）減少した。

経営組織別にみると、個人経営体は 893 経営体で、前回に比べ 24.1%（283 経営体）、団体経営体は 78 経営体で、同 1.3%（1 経営体）減少した。

漁業層別にみると、沿岸漁業層は 905 経営体で、前回に比べ 23.2%（273 経営体）減少した。

販売金額 1 位の漁業種類別にみると、「採貝・採藻」が 195 経営体（20.1%）、「その他の刺網」が 185 経営体（19.1%）、「小型底びき網」が 126 経営体（13.0%）となっており、全体の 52.1%を占めている。

販売金額別にみると、販売金額が 100 万円未満の漁業経営体は 361 経営体であり、全体の 37.2%を占めている。

2 漁業就業者数は 1,940 人 前回に比べ 19.5%（469 人）減少

漁業就業者数を自営・雇われ別にみると、自家漁業のみに従事した漁業就業者は 986 人で、前回に比べ 26.0%（347 人）、雇われて漁業に従事した漁業就業者は 954 人で、同 11.3%（122 人）減少した。

男女別・年齢階層別にみると、60 歳以上の漁業就業者数は、1,068 人であり、全体の 55.1%を占めている。男女別では、男性は全体の 94.1%（1,826 人）、女性は 5.9%（114 人）となっている。

3 漁船隻数は 1,437 隻 前回に比べ 20.8%（377 隻）減少

動力漁船は 796 隻で、前回に比べ 16.4%（156 隻）、船外機付漁船は 595 隻で、同 26.7%（217 隻）、無動力漁船は 46 隻で、同 8.0%（4 隻）減少した。

4 個人経営体数は 893 経営体 前回に比べ 24.1%（283 経営体）減少

個人経営体を専業別でみると、専業は 468 経営体で、前回に比べ 2.7%（13 経営体）、兼業は 425 経営体で、同 38.8%（270 経営体）減少した。

後継者の有無別にみると、後継者がいる経営体は 94 経営体で、個人経営体に占める割合は 10.5%と前回に比べ 4.7 ポイント減少している。

個人経営体の基幹的漁業従事者は、70 歳以上が全体の 53.6%を占めており、前回から 3.2 ポイント増加している。

この公表内容は、石川県統計情報室ホームページ「いしかわ統計指標ランド」でご覧になれます。

https://toukei.pref.ishikawa.lg.jp/search/min.asp?sc_id=117

全国のデータについては、農林水産省のホームページでご覧になれます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/fc/2023fc/2023fc.html>